

NRIだより

2016年3月期 決算のご報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

トップメッセージ	1
業績ハイライト	5
2015年度のトピックスより	6
会社データ	8

トップ メッセージ

このたびの熊本地震で被災されました皆様
心よりお見舞い申し上げます。
4月より新しく社長に就任しました此本です。
どうぞ宜しくお願いいたします。

2016年3月期は売上高、営業利益、 当期純利益とも、過去最高を更新

中国経済の減速などを背景に、国内景気の先行きに不透明さが見られるものの、多くの日本企業が将来を見据えた新事業開発や構造改革を進めています。このような環境の中、NRIのコンサルティングやITソリューションに対する需要は堅調に推移しました。

日本国内では、制度改革に着実に対応することで、NRIの共同利用型サービスの事業が拡大しました。新日銀ネット(日本銀行金融ネットワークシステム)の全面稼働、金融所得一体課税やジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)といった制度改革のスタートにあわせて、共同利用型サービスに新機能を追加し提供しまし



た。また、2016年1月に開始されたマイナンバー制度に対しては、制度導入に向けたコンサルティングサービスに加え、マイナンバーの登録・管理を支えるサービスを提供しています。

プロフィール

此本 臣吾 (このもと・しんご) 1960年2月11日生

1985年4月にNRIの前身である旧株式会社野村総合研究所に入社以来、経営コンサルタントとして活動してきました。1994年8月に台北事務所長、翌1995年7月には台北支店長を務めるなど、アジアを中心としたグローバルでの事業立ち上げをいくつも経験しています。また、ITソリューション部門と連携して新規顧客獲得の実績をあげてきました。「Vision2022」の実現に向けて、成長戦略を推し進めていきます。

海外事業においては、日本企業のグローバル事業展開の支援に加え、優れた技術・スキル・魅力的な顧客基盤を持つ企業との協業やM&Aなどを進めています。2015年4月には、ブライアリー・アンド・パートナーズを完全子会社化しました。そして、2016年4月には、同社はブライアリー・アンド・パートナーズ・ジャパン株式会社を設立し、日本と東南アジアにおいて、デジタルマーケティング・サービス事業の展開をはじめました。

2016年3月期の売上高は4,214億円(前期比3.8%増)、営業利益は582億円(同13.2%増)です。コンサルティング、金融ITソリューション、産業ITソリューションの各セグメントともに増収となったことに加え、前期の不採算案件の解消により収益性が改善し、増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は426億円(同9.7%増)でした。売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも、過去最高を更新しました。

「Vision2015」では持続的な成長、高い収益力という成果を挙げてゴール

2016年3月末にNRIは、2008年4月にスタートした長期経営ビジョン「Vision2015」のゴールを迎えました。その成果として、業界平均を上回る成長を継続し、業界で突出した収益力を確保しています。また、力強い

「Vision2015」の主な成果

	外部売上高構成比	
	2008年3月期	2016年3月期
2大顧客「以外」の拡大	約58%	74%
産業関連分野の顧客大型化	約19%	24%
共同利用型サービスの拡大	約12%	22%
グローバル関連事業の売上拡大	約1%	6%

事業ポートフォリオの構築に向けた成果も得られました。例えば、情報システムの「所有から利用へ」の流れを背景に、共同利用型サービスの市場シェアは順調に拡大したほか、産業関連分野では、コンサルティングとITソリューションの両部門が連携して提案活動をおこない、顧客基盤が拡大しました。

新たな「Vision2022」では、強みに磨きをかけるとともに、成長戦略を推進

NRIはいま、「潮目が変わる」重大な局面にさしかかっています。顧客企業のグローバル事業展開はますます

「Vision2022」のメインメッセージ

磨く、変える、創るで、Value(価値)とVariety(多様性)を倍増

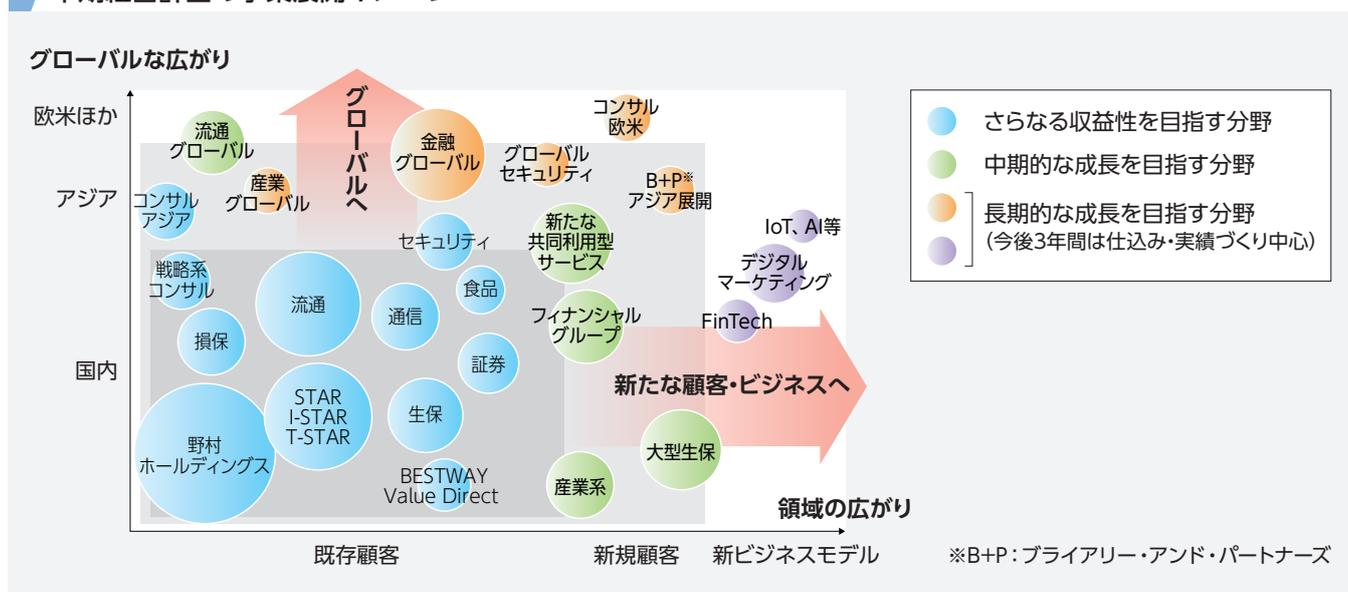
- ➡ 既存の強みを磨き、圧倒的優位性を確立
- ➡ 顧客・技術の変化に対応し、自らも変革
- ➡ 既存の強みだけに頼らない、新たな発想



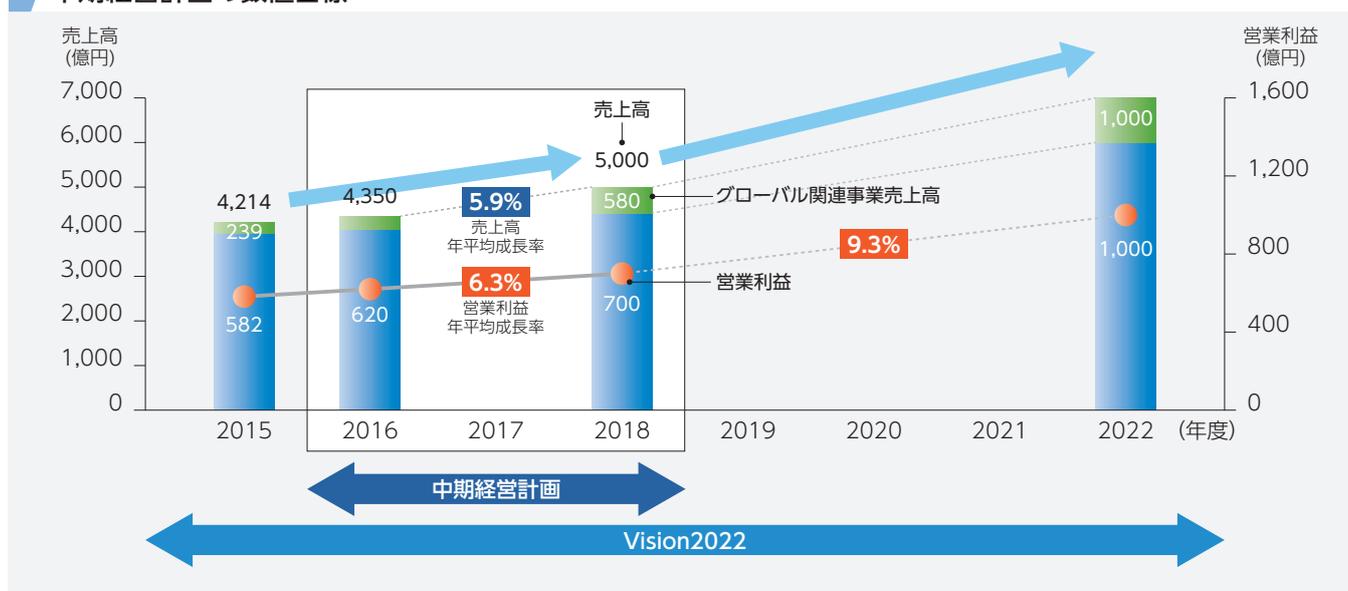
「Vision2022」数値目標

指標	数値目標
営業利益	1,000億円
営業利益率	14%以上
グローバル関連事業売上高	1,000億円
ROE	14%

中期経営計画の事業展開イメージ



中期経営計画の数値目標



加速しており、顧客からの信頼を維持し続けるためには、グローバルな対応力が求められています。また、社会はデジタルエコノミーによる「新しいITの時代」へと大きく変化しています。このような変化の潮流をしっかりと見定めて、2015年4月にNRIIは、あえて8ヵ年という長期の経営ビジョン「Vision2022」を掲げました。50年以上の歴史の中で培ってきた洞察力、実現力、共創力という3つの強みにさらに磨きをかけ、成長戦略を推進することで、営業利益1,000億円、グローバル関連事業

売上高1,000億円など高い目標の達成を目指します。

中期経営計画をスタート、新体制で新たな領域へ事業拡大

「Vision2022」の実現に向けて、2016年4月からの新体制の下で、3ヵ年の中期経営計画をスタートしています。数値目標として、売上高5,000億円、営業利益700億円、グローバル関連事業売上高580億円を設定



しました。5つの取り組みを進めて事業領域のすそ野を広げ、その先の成長を加速する土台づくりを目指します。

- ① 国内得意領域の生産性向上により、さらなる収益力の強化
- ② 共同利用型サービスのサービス強化と投資による領域拡大
- ③ プライムアカウント戦略^{*1}をさらに進め、大型顧客を着実に拡大
- ④ アジアに加え、欧米でのグローバル関連事業の基盤を構築
- ⑤ コンソリレーション^{*2}等を通じたビジネスIT^{*3}の着実な実績づくり

2017年3月期は中期経営計画の1年目となります。中期経営計画の実現に向け、コンサルティングからシステム開発・運用までを一貫して提供できるNRIグループの総合力を活かして対応していきます。

「Vision2022」のビジョン・ステートメント

Share the Next Values!

Share

NRIグループ内外の多様な人材が手を携えて総力を結集し、お客様とともに活力ある未来社会づくりに貢献して、成果と喜びを分かち合います。

Next

時代先取りの精神で、グローバルへ、デジタルへ、未来の領域へと踏み出していき、次代に向けた新たなビジネスモデルを創造します。

Values

自らの強みを磨き、社会とお客様への様々なサービス提供を通じて価値を創造し、未来志向の新たなビジネスモデルを生み出していきます。

ビジョン・ステートメントは 「Share the Next Values!」

「Vision2022」の実現に向けた思いを“Share the Next Values!”という言葉に込めました。NRIの社員の一人ひとりが、この思いを持って、新たな価値の実現に向けて挑戦します。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年5月
代表取締役社長

此本 臣吾

※1 プライムアカウント戦略:

コンサルティングとITソリューションの両部門が連携し、業界のトップ企業に継続的にアプローチすることで強固な関係を築き、顧客基盤の拡大を図る戦略。

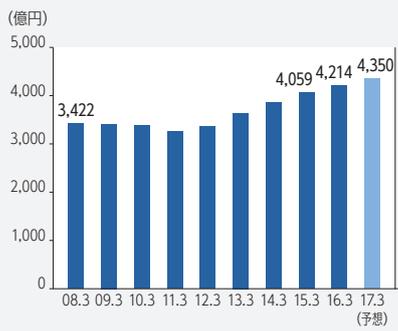
※2 コンソリレーション:

コンサルティングとITが並走し、継続的に価値を創出するという、NRIの新たなビジネスモデル。

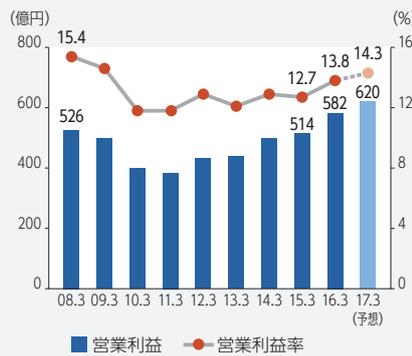
※3 ビジネスIT:

顧客のビジネスの拡大に直接貢献するIT。これに対して、顧客の内部事務の効率化に資するITを「コーポレートIT」という。

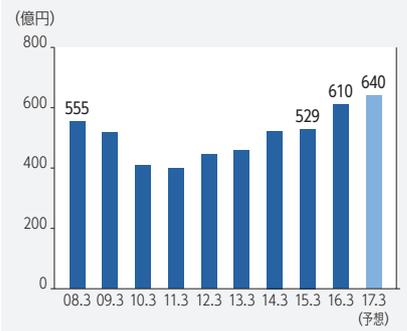
売上高



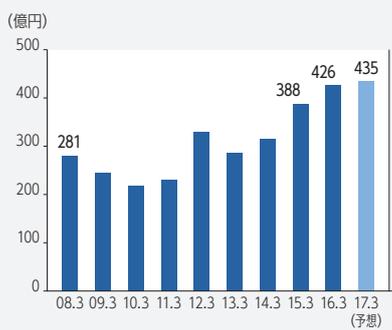
営業利益 / 営業利益率



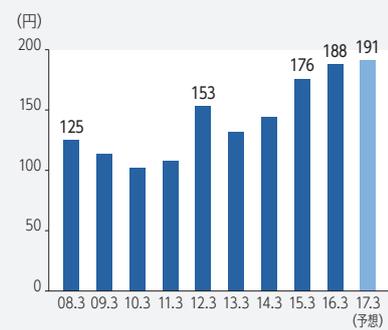
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



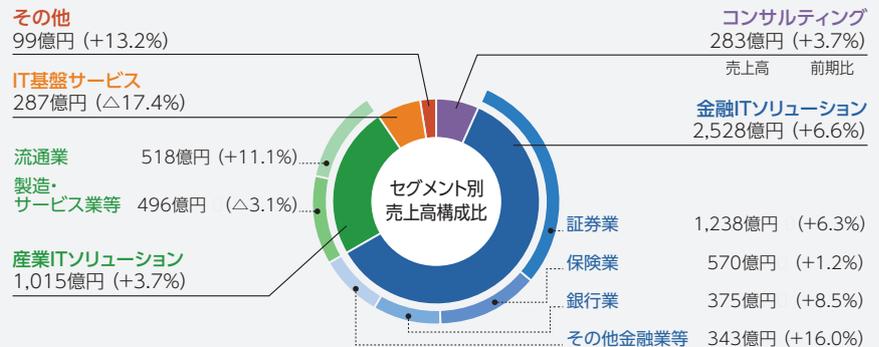
1株当たり配当金 / 配当性向



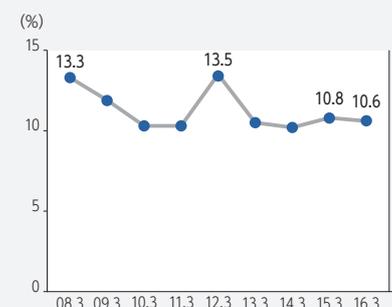
総資産 / 自己資本比率



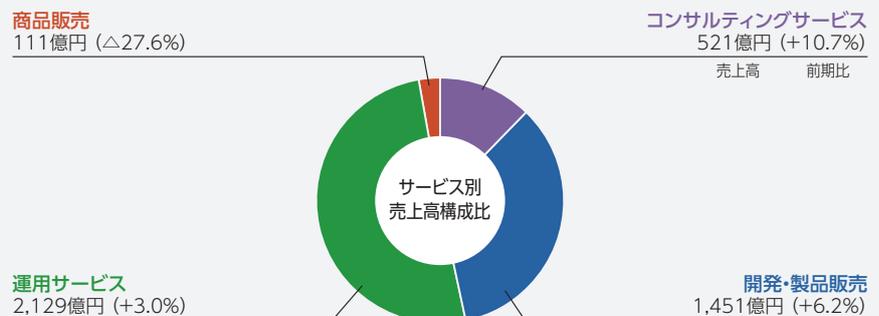
セグメント別外部売上高 (前期比) (2016年3月期)



ROE



サービス別売上高 (前期比) (2016年3月期)



(注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり当期純利益・配当金は円未満)を切捨てて表示しています。
 2. 当社は、2015年10月1日付で、普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割をおこなっています。1株当たり当期純利益・配当金は、株式分割の影響を過年度分について遡及して算出しています。
 3. 配当性向は、NRIグループ社員持株会専用信託に対する配当金を含めて計算しています。
 4. 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しています。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

2015年 4月 Category 産業ITソリューション

資生堂の総合美容Webサービス「ワタシプラス」のシステム基盤を整備

会員数の拡大に対応できるよう、従来の約10倍の大量アクセスに耐えうるシステム基盤を実現しました。

 <http://www.shiseido.co.jp/wp/index.html>

5月 Category 金融ITソリューション — 業務提携

日本生命保険相互会社と資本業務提携

生命保険業界における今後のIT活用について共に考えていきます。

9月/10月 Category 金融ITソリューション

金融ITサービス企業の世界ランキング2種でトップ10入り

 [FinTech Rankings]で第10位、[FinTech Forward Rankings]で第9位に選ばれました。

10月 Category その他 — 50周年記念行事

「NRI未来創発フォーラム2015」を開催

 2030年の日本をデザインする

5月 Category 金融ITソリューション

野村證券が「STAR」に続き「I-STAR」を導入

「I-STAR」に移行することで、メインフレーム上で稼働する証券基幹システムを停止し、情報システムに係るコストを適正化する道筋をつけました。

7月 Category ESG — 会社設立

「NRIみらい」を設立

 10月に「障害者雇用促進法」に定める「特例子会社」の認定を取得しました。障がい者の雇用促進をはかるとともに、障がい者雇用のシンクタンクとして認知されることも目指しています。

◀ 11月に開催した第1回「障がい者雇用に関する経営・マネジメントセミナー」の様子

10月 Category 金融ITソリューション — R&D

野村證券等と共同で、証券業務におけるブロックチェーン技術の利活用に向けた実証実験を実施

10月 Category 金融ITソリューション

「I-STAR/LC」に日銀ネットの全面再構築に対応した新機能を追加

NRIが提供する共同利用型サービス「I-STAR/LC」では制度改正に迅速・的確に対応し、金融機関業務の高度化と負担軽減を支援しています。

10月 Category ESG

「NRIコーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定

6月 Category コンサルティング — 情報発信

日本の総住宅数・空き家数・空き家率を予測

既存住宅の除却や、住宅用途以外への有効活用が進まなければ、2033年には空き家数が2,000万戸超へと倍増することが予測されます。

11月 Category コンサルティング — 情報発信

7回目の「生活者1万人アンケート調査」を実施

景況感が回復する中、消費スタイルは安さよりも「利便性」を重視する傾向が見られました。

12月 Category コンサルティング — 情報発信

601種類の職業について、コンピューター技術による代替確率を試算

「2030年」から日本を考える、「今」から2030年の日本に備える。」をテーマにおこなっている研究活動のひとつにおいて、10～20年後に、日本の労働人口の約49%が就いている職業は、人工知能やロボット等により代替できるようになる可能性が高いと推計されました。

12月 Category
金融ITソリューション — R&D

住信SBIネット銀行と共同で、
銀行業務におけるブロック
チェーン技術の利活用に
向けた実証実験を実施

12月 Category
IT基盤サービス

テキストデータ解析ツール
「TRUE TELLER
(トゥルーテラー)」を刷新

従来より解析速度を約1.2倍に高速化
したり、解析精度を1.6倍に向上したり
することで、ビッグデータ活用ニーズ
の高まりに応えます。

 <http://www.trueteller.net>

2016年 1月 Category
産業ITソリューション — R&D

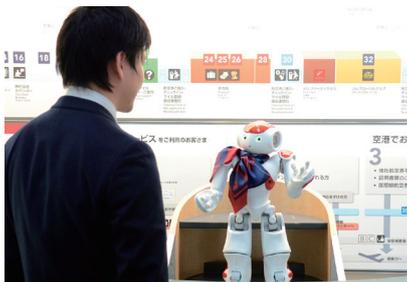
パロアルト研究所と提携

日本と東南アジアの企業や政府機関
に対し、ビッグデータ分析やイノベー
ション創出に関するコンサルティング
など、先端の情報技術を利用したサー
ビスを共同で提供していきます。

2月 Category
IT基盤サービス — R&D

日本航空と共同で、サービス
ロボットの活用による顧客サー
ビス向上の実証実験を実施

羽田空港の国内線出発ロビーにサー
ビスロボットを設置。併設した電子看
板と連動させ、空港施設のご案内、航
空機の運行状況や行き先の天候・口
コミ情報などを、対話形式でお客様へ
提供しました。



12月 Category
ESG

「NRI学生小論文
コンテスト2015」の
入賞者が決定



1月 Category
金融ITソリューション

「株式会社ウエルス・スクエア」
を共同設立

野村アセットマネジメントと野村ファ
ンド・リサーチ・アンド・テクノロジー
と共同で、ファンドラップ・ビジネスを
展開します。

2月 Category
金融ITソリューション

「プライム・セトルメント・サービス」
がウォール・ストリート・レターの
ベスト・ユーティリティ・テクノ
ロジー賞を受賞



金融機関がバックオフィ
スでおこなう一連のポス
トトレード業務の効率化
を支援するサービスが、
米国の金融テクノロジー専門メディア
から高く評価されました。

1月 Category
IT基盤サービス

NRIセキュアがクレジットカード
情報漏えい事故に関する
専門調査機関として認定

クレジットカード情報を扱う企業に対
するサービスが強化され、加盟店が預
かるカード情報が漏えいした場合の事
故調査をはじめとする復旧の支援が
可能となりました。

2月 Category
ESG

2022年度に向けた環境目標
を策定

「NRIグループの事業活動から生じる
温室効果ガスの排出量を、2013年度
比で2018年度に18%、2022年度に
25%、それぞれ削減する」という環境
目標を策定しました。

4月 Category
IT基盤サービス

大阪第二データセンターを開業

関東地区と関西地区の
データセンターを連携
した相互バックアップや
機能分散など、広域災
害への対策がより充実
します。



2015年4月にスタートした長期経営ビジョン「Vision2022」では、グローバル関連事業売上高1,000億円を目標のひとつに掲げています。今回はNRIのグローバル事業への取り組みのひとつをご紹介します。

NRIの米国子会社であるNRIホールディングス・アメリカが、2015年4月に、米国でデジタルマーケティング^{*}・サービスなどを提供するブライアリー・アンド・パートナーズ(以下、「B+P」)を完全子会社化しました。日本と東南アジアでは、ここ数年、急速にデジタルマーケティングに関する取り組みが盛んになってきています。2016年4月には、ブライアリー・アンド・パートナーズ・ジャパン株式会社を設立し、日本と東南アジアにおける事業展開を強化するとともに、B+PとNRIの総合力で、より付加価値の高いサービスを提供していきます。

brierley+partners™

^{*}デジタルマーケティング:Webメディア(電子商取引、ソーシャルメディアなど)や実店舗といった顧客が接する全チャネルから集めたビッグデータを活用し、個々の顧客ニーズに合わせた価値を提供するサービス。

会社データ

会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所(NRI)設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター(NCC)設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所第一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 此本 臣吾
従業員数	5,979名/NRIグループ 10,757名(2016年3月31日現在)

株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店または証券代行部テレホンセンターまでお問い合わせください。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL http://pn.nri.com/) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先・照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711(通話料無料)

株式会社野村総合研究所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル
TEL 03-5533-2111 <http://www.nri.com/jp/>